



岡山県高P連会報

No. 83

contents

会長挨拶	1
全国高P連大会茨城大会	1～2
岡山県高等学校PTA指導者研修会	2
PTA活動の紹介	3～6
令和7年度行事予定：県育英会寮生募集	6
県からのお知らせ	7
生徒総合補償制度の御案内	8

発行 岡山県高等学校PTA連合会
 事務局 〒703-8258 岡山市中区西川原251-1
 おかやま西川原プラザ別館内
 TEL 086-230-1213 / FAX 086-230-1835
 URL <http://www.okayama-koupren.jp>
 E-mail info@okayama-koupren.jp

根深い「いじめ」問題と対策

岡山県高等学校PTA連合会会長
 (岡山一宮高等学校PTA会長)

竹原和志



皆様方におかれましては平素よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。前会報にも書かせていただいた通り、まだまだ慣れない日々が続いていますが残りの任期を全うすべく、まい進していく所存です。

先日のお話になりますが「令和6年度岡山県いじめ問題対策連絡協議会」に委員として出席させていただきました。本協議会は様々な分野の方々が委員となり岡山県のいじめ問題について現況説明を受け、解決に向けて協議しています。今回の協議題として①令和5年度問題行動等調査結果を見て岡山県の認知件数や解消率をどのように受け止めているか。②そのことを踏まえそれぞれの立場や各機関等

においてどのような連携ができるか。この2点について2時間話し合いました。①に対しての意見として「加害者側、被害者側それぞれに背景がある事」「子ども達の前での保護者同士の関わり方、発言等を特に注意する事」「ネットに頼らない人間関係の育成」等が挙げられました。認知件数は増加しているのですが昔に比べていじめに関する感覚が上がっている為、単純に増えているとは言えない。②解消率の方が重要との事でした。②に対しては「ネットトラブルは増加しているがSNSでのいじめは証拠が残る為、起きにくい」「いじめ防止対策推進法と実際のいじめの定義についての乖離」「加害者、被害者双方の背景を考える」等が挙げられました。県教育庁人権教育・生徒指導課から高校生の保護者の代表として高P連会長の意見を求められていたとは思いましたが、諸問題や対策についてうまく説明することができませんでした。私から伝えさせてもらった事は「いじめの根絶は難しい事」「加害者、被害者共に心のケアが必要なる事」「大人が子ども達の前で陰口を叩かない事」「いじめは幼い頃から始まり自ら抜け出すことは難しい事」の4点です。いじめの問題は非常に根深く、子ども達が成長する過程にはいくつもの分岐点があり複雑に絡んできていると思

ます。その中で高等学校という場所は学区等の縛りから抜け出せる場所です。そこで子ども達の健全やかな成長の為に、我々大人達がいじめ問題について真剣に考え、日々の言動に気を付けながら子ども達の成長を見守っていかれたらと思います。

来年度の協議会に皆様の生きた意見を述べられる様、連合会を通じて忌憚のない意見をいただけたらと思います。

第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会

第73回全国高P連茨城大会が8月22日(木)・23日(金)アダストリアアミとアリーナを主会場に、大会テーマ「歴史の町で変革を」新たな時代が目に入らぬかゝのものと開催され、全国からPTA関係者約6千人が参集し、本県からは92名が参加しました。また、大会の様子はオンラインでも配信され本県でも4校が視聴しました。初日は5つの会場に分かれての分科会となりました。

翌日の開会式・表彰式では、茨城大会実行委員会の板倉哲男実行委員長開会挨拶、全国高P連の田名部智之会長の式辞に続き、来賓のあべ俊子文部科学副大臣、大井川和彦茨城県知事及び志田晴美水

戸市教育委員会教育長から祝辞があり、その後表彰式がありました。記念講演では茨城県牛久市出身の二所ノ関寛氏（第72代横綱・稀勢の里）が「人材育成の不易流行」と題して御自身の相撲人生を語られました。中学校卒業後各界入りし新十両と新入幕をいずれも史上2位の若さで果たすとともに、横綱白鵬の連勝を63で止める大金星を機にさらに飛躍し、25才で大関昇進、多くの試練を乗り越えての初優勝、そして横綱昇進、大けがを負いながら奇跡の逆転V等、数々のドラマを土俵に刻んで来られました。現役では多くを語らず黙々と土俵に上がり続けた横綱が講演では相撲道を飾らない言葉で語られました。質疑応答での「大勢の弟子を預かっていて一番思っていることは何か」との参加者か



板倉大会実行委員長開会挨拶

らの質問に対し「若い子の人生を預かっていて、悩んでいる時など目を見て話すことを心掛けてい」と話されました。大学院での学び直しの出会いが大きく人生を変え、科学的な稽古やスポーツビジネスの手法を導入するなど様々な取組を積極的に行ってこれ、何も無いところから熱い気持ちを土台に、伝統を大切にしながら理想を追い求め、広い視野で情報を取り入れる姿勢に感心するとともに、講演中の終始笑顔で語られる姿に癒やされました。

閉会式では、大会旗が来年度開催県の小野喜照三重大会実行委員長に手渡され、来年の盛会を祈念いたしました。

「全国高P連会長表彰」

団体表彰

岡山学芸館高等学校父母の会
岡山県美作高等学校PTA

個人表彰

福田 純一 氏
（玉島商業高等学校前PTA会長）
赤瀬 健 氏
（岡山龍谷高等学校前保護者会会長）

役員表彰

菊地 潤 氏
（岡山県高等学校PTA連合会前会長）

**岡山県高等学校PTA
指導者研修会**

令和6年11月12日（火）ピュアリテイまきびにおいて、各高校から103名のPTA役員・教職員が参加し、県教育委員会と共同で研修会を開催いたしました。県教育庁生涯学習課の滝沢幸隆課長、県高P連の竹原和志会長の開会挨拶に引き続き、少人数のグループに分かれての情報交換、人権教育ワークショップを行いました。

続いて、地方独立行政法人岡山精神科医療センター臨床研究部長 橋本望氏から「市販薬の問題使用とその背景について理解を深める」と題して講演がありました。講演では、10代における「主たる薬物」が以前の覚醒剤や危険ドラッグから市販薬に移っていること、紹介があり、高校生の約60人に1人が市販薬の乱用経験が有るなど衝撃的な現状を具体的な研究データを基にお話しされました。薬物乱用への対処方法としては、コミュニケーションが難しい年代であり、親の接点として監視ではなく子どもたちの行動に関心を持って、「見ているよ」と温かいまなざしを持って接することが大事であると教えていただきました。

引き続きのワークショップでは、講師を交えて「子どもを市販薬の不適切使用等から守るため



講師 橋本望 氏

に、親として、PTAとしてできること」と題して、グループ毎に協議を行い発表を行いました。情報交換では活発な意見交換が行われるとともに、他校のPTA活動等について熱心に聞き入る参加者の向上心の高さに関心いたしました。



ワークショップの様子

今後参加者が学んだことを会員で共有し、PTA活動につなげていくことを意識できるような研修にしていきたいと考えます。

PTA活動の紹介

岡山東商業高等学校

岡山県立岡山東商業高等学校は、1898年に岡山県商業学校として創立し、本年度で125年目を迎え、3万3千人以上の卒業生がいる伝統ある商業学校です。1年次は全員商業科として基礎知識や技術を習得し、2年次からは自分のスタイルに合った分野での専門知識や実践、資格、思考力を習得していきます。

また「誠実・質素・勤勉」の校訓のもと生徒たちは、勉強だけでなく部活動、ボランティア活動など多岐にわたり活躍しています。

本校のPTAでは、**保護・保健・文化**の3つの委員会で構成されており、委員会ごとに地域貢献やPTA普及活動に勤しんでいます。そのPTA活動の中で一番の活動は「東商デパート」になります。今年で31回目となるこのイベントは生徒が中心となり業者と交渉し、出店・販売を行う、商業高校ならではのイベントであります。県内でも屈指の起業者を排出している学校の基盤とも言える一大イベントです。PTAでは、各委員会ですべての内容を考えており、看板

や備品などは手作りで作り、生徒たちにも負けない活気で集客し販売しております。本年度、PTAメンバー皆様のご協力のもと、売上・利益は過去最高を記録したのではないかと記憶しております。

このようなイベントを通じて生徒たちや先生方との交流を図り、またPTAメンバー同士の横の繋

がりや理解を深め、学校の発展と生徒たちのより所になるPTAとして今後とも活動していけばと考えています。

瀬戸高等学校

本校は、明治42年創立の瀬戸実科女子学校を前身とする歴史と伝統ある高等学校で、約2万3千人の卒業生を送り出しています。また、令和6年度に、文部科学省の高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）の指定を受け、教育活動の様々な場面において、生成AIの活用などに力を入れてまいります。

さて、本校のPTA活動として、9月7日に開催された文化祭では、模擬店を出店し「焼きそば」、「かき氷」、「パン・ジュース」の販売をしました。PTA役員のみならず、多くの保護者がボランティアとして協力してください、昨年に引き続き大盛況で終えることができました。そこでの売上金により、9月10日に行われた体育祭では全校生徒に、熱中症予防の飲料を配布しました。

さらに、旭東地区高等学校PTA連合会秋季委員会に於いては、「生成AIでWELLBeingを目指す」生成AIは最高の発明家」と題し、慶應義塾大学SFC

研究所上席所員の笹埜健斗氏をお招きし、本校生徒の教育活動の一端を参加者の方々に経験していただきました。皆さん興味深く「高校生の学び」を感じ取っていただけたことと思います。

今後は1月にウォーキング大会が予定されており、ここでも生徒がゴールした時にPTA手作りの暖かいポトフとパンを振舞う予定です。

これからも生徒の学校生活が充実したものになるよう、先生方、地域の方と共に取り組んでいきたいと思っております。



東商デパート



文化祭の様子





旭東地区高P連秋季委員会

倉敷鷺羽高等学校

本校は県立児島高等学校と、県立琴浦高等学校とが再編され、平成17年に新たに設立され全国唯一の「未来創造科」を設置してスタートを切りました。令和2年度から「普通科」と「ビジネス科」に学科改変しています。普通科は「文理」「体育」「保育」「食物」の4コースに分かれた特色ある普通科として多彩な教育活動を行っています。

本校のPTA活動はPTA評議員が「交通・補導」「広報」の2つの委員会に分かれて活動を行っています。コロナ禍での活動見直しを機に、生徒・保護者にとって必要な内容を精査し、簡略化できることは縮小、変更し、誰でも気軽に参加できる持続可能なPTA活動を目指しています。例えば、PTA総会のあり方を変更し、学校行事でのバザーを廃止することで、子どもたちの活動をしっかりと



交通立ち番

り見ることができるようになりました。

また、毎年発行しているPTA新聞は、広報委員会のメンバーが、共同作業で楽しく作っています。今年は生徒へのアンケートを行い、保護者が気になる「高校生の昼食事情」を記事に入れました。交通・補導委員会では、教員と一緒に交通立ち番や地域の祭りの補導などを行っています。自転車の鍵かけやヘルメット着用の呼びかけなどを行い、生徒が安全に登下校できるように尽力しています。今後も、保護者の負担を軽減しながらでも、楽しく子どもたちのために活動できるPTA組織を目指していきたいと思えます。



PTA新聞

笠岡工業高等学校

県南西部に位置する岡山県立笠岡工業高等学校は、電子機械科・電気情報科・環境土木科の3つの専門科から成り立っています。

昨年、創立80周年を迎え、卒業生が1万3千人を超え、各業界で活躍されています。これも先輩方のおかげだと感じています。PTA活動は盛んで、3つの専門部で活動をしています。生活指導部・厚生部・文化教養部です。中でも、厚生部は笠工祭で「もちの販売」を行っています。地域の方々も、もちを求めて来校され、大人気の活動となっています。

伝統ある笠工。私が学校に行くとき、生徒が気持ちよいあいさつをしてくれます。とてもうれしい気



笠工祭

持ちになります。当たり前のことのように思えますが、当たり前にできない世の中になっているように思います。また、笠工は先生と生徒の距離が近く、手厚い指導をしてくださいます。就職や進学でも立派な成績を残しています。少子化により、学校が再編整備の対象になっている中、生徒たち



創立80周年記念式典

が安心して学校生活を送れるように、私たちPTAは今後も支えていきたいと思っています。

倉敷青陵高等学校

倉敷青陵高校は、文化資源の豊かな倉敷市中心部に位置しています。近隣には、倉敷美観地区や大原美術館があり、観光地を歩いて課題を見つめる「探究活動」や、感性を磨き新たな視点を育む「芸術鑑賞」が、授業の中に取り入れられています。また、生徒の自主性を重んじ、生徒主体の学校運営を目指すべく、生徒会活動も活発に行われています。青陵高校が主催し、3年前にスタートした「生徒会交流会」では、倉敷市内の高校から生徒会役員が集まり、交流を図っています。地域の課題を共有し、解決に向けて、各校が連携できる環境を構築しています。

倉敷青陵高校PTAも、子どもたちと同じように自主性を重んじたPTA活動を目指し、評議員や役員が、全て立候補で決まるよう、工夫を凝らしています。活動を厳選し、わかりやすい資料を作成することで、PTA活動に親しみを持ってもらえるようにしました。集まる回数は少ない方だと思います。その分、保護者が学校生活に関して思うことがあれば気軽に声

を上げられるように、意見を出しやすい雰囲気の評議員会を心がけています。これからも、先生方と一緒に、子どもたちの学校生活を全力でサポートしていきます。



登校の見守り

総社高等学校

本校は大正6年創立、卒業生3万人以上輩出している伝統校です。普通科と家政科を設置し、普通科は令和4年度から単位制に移行しています。

本校のPTAは3つの専門部（広報部・教養部・生活支援部）に分かれており、評議員はいずれかの部に所属して活動しています。広報部は、年2回PTA新聞「PTA総高」を発行しています。教養部は、7月12日（金）に保

護者33名、教員2名で、岡山県立大学情報工学部を見学しました。大学の概要を聞いた後、施設見学をし、就職や大学院進学についての説明も受けました。

生活支援部は、総高祭文化の部2日目に来店し、あっという間に250本のドリンクが売り切れました。「生徒が気軽に購入できるように」という想いで、価格をすべて100円に設定したからかもしれません。



総高祭ドリンク販売

11月13日には、備北地区高等学校PTA連合会指導者研修会を本校で開催し、吉備国際大学教授の池上真由美氏を講師に招き、「これからの外国語教育を考える」という演題で講演をしていただきました。

現在PTAも変革期にありま。生徒の健全な発達に寄与することを目的に、今後も活動をしていきたいです。



備北地区高P連研修会 講演

岡山県美作高等学校

岡山県美作高等学校は津山市にある私立の高等学校であり、1915年に津山高専縫紉学校として設立し来年には110年目を迎え、広く国内外で活躍している多くの卒業生を輩出している歴史と伝統のある学校です。校訓にある白梅精神のもと様々な教育実践目標を定めています。

本年度は中国地方初のBLOOM（ブルーム）コース・学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）として新しくコースが出来ました。

学校内外での体験活動や特色ある授業を通して夢や目標に向かって主体的に考え行動する力を育むカリキュラムを設定し生徒一人ひとりの資質・能力を育んでいます。2025年度は更に新しく4コースができ、8つのコースと19の系で自分に合った様々なコースを選



文化祭・体育祭の様子

扱できる学校になっております。またPTA活動としては年間を通じて保護者同士関わりが出来る事を念頭に体育祭、文化祭にも保護者がブースを出して商品を販売しました。特に文化祭においてのうどんブース出店は、多くの保護者にご参加いただき販売をする過程で交流も深まり好評でした。そのような活動の中で今年は全国高P連会長表彰もいただくことが出来ました。

これからも地域の皆様、先生方、保護者の皆様とPTA活動を通じて生徒の成長や学校づくりの貢献を目指していきたいと思っております。

令和7年度行事予定

岡山県高等学校PTA連合会 表彰式・総会・研修会

日時 6月23日(月) 13時～16時 会場 ピュアリティまきび

岡山県高等学校PTA連合会 会長研修会

日時 9月27日(土) 13時30分～17時30分 会場 ピュアリティまきび

岡山県高等学校PTA指導者研修会

日時 11月12日(水) 13時～16時35分 会場 ピュアリティまきび

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会

日時 7月11日(金) 9時40分～16時

会場 くにびきメッセ 島根県松江市

※県高P連として交通、宿泊プランを企画しています。



第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会

日時 8月21日(木) 13時00分～22日(金) 12時10分

会場 日硝ハイウエアアリーナ・メッセウイングNHW
三重県津市

※県高P連として交通、宿泊プランを企画しています。



岡山県育英会東京寮 寮生募集

交通：JR品川駅まで徒歩10分

寮費：月額54,000円(朝夕2食付) ※寮の運営状況により改訂されることがあります。

応募資格：県内居住世帯で東京周辺の大学に新入学予定の男子

応募期間：3月11日(火)まで

問合せ：(公財)岡山県育英会 ☎(086)226-7598



県からのお知らせ

岡山の高校生の チャレンジを応援します！



次世代おかやま 「夢育」ネットワーク WEBサイト

県立高校生の活躍を紹介する「Spotlight」、高校生が参加できるイベント、各種コンテストの募集情報「Let's Challenge!」など、高校生に向けた様々な情報提供や発信を行っていく、総合情報サイトです。

岡山県の高校生が夢に向かってチャレンジする姿を、ぜひ、ご覧ください！

アクセスはこちらから！→



<https://sites.google.com/gse.okayama-c.ed.jp/koukou-yumeiku/>

岡山県教育委員会

新岡山県不登校総合対策

OKAYAMA夢につながる学びプロジェクト

～誰一人取り残されない岡山県の教育に向けて～

不登校対策の基本的な考え方



誰一人取り残されない学びの実現

どのような状態の子どもでも学びにつながるができるよう、学校における指導の改善・充実や学校外での学びの場づくりを推進します。

- ① 学校を、子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所とします。
- ② 子どもたち・保護者と丁寧なコミュニケーションを図ります。
- ③ 子どもたちに、多様な学びの場を用意します。

◆ 高等学校段階における支援

- ・ 高等学校の生徒たちは、夢や希望を持ち、新たな学校生活への期待に胸を膨らませて入学しているからこそ、何らかの理由で学校に行きづらさを感じている生徒に対しては、生徒の気持ちに寄り添った支援を行います。
- ・ 生徒一人ひとりの状況について、専門家も活用した「チーム学校」でしっかりとアセスメントした上で、安心して学べる場を用意します。また、ICTを活用した学校とのつながりを切らないための取組や、令和6年度から可能となった遠隔授業等により、学びを継続できるよう支援を行います。

ご存知ですか？ お子さんの大学等への進学を考えているご家庭へ

高等教育の修学支援新制度

国の「高等教育の修学支援新制度」は、「授業料・入学金の免除または減額」「給付型奨学金の支給」の2つ

の支援により、大学や専門学校などで安心して学んでいた
だくための制度です。令和7年度から子ども3人以上の世帯への支援が拡充されます。詳しくは文部科学省のホームページをご覧ください。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

対象者の要件や対象となる大学等をご確認ください



生徒総合補償制度

(学生・子ども総合保険)

特長

☆国内外を問わずさまざまなケガや賠償事故を補償

☆スマートフォンからお申込手続きが可能です！



令和7年度新1年生募集プラン

補償期間(保険期間):令和7年4月23日午前0時より令和10年3月31日まで

保険金額と保険料

団体割引 15%適用

●前年度ご加入いただいた被保険者の人数に従って割引率が適用されます。
 ※後遺障害保険金は、後遺障害の程度に応じて、死亡・後遺障害保険金額の100%～4%をお支払いします。

ご加入セット		S	A	B	C
保険料・維持費合計 (一括払)		45,000円	36,000円	24,000円	18,000円
一括払保険料		44,700円	35,700円	23,700円	17,700円
制度維持費(3年分)		300円	300円	300円	300円
携行品損害補償		20万円	15万円	10万円	—
傷害 保険 金	入院 (180日限度)	4,000円	3,000円	2,000円	2,000円
	手術	●入院中の手術は、上記入院保険金日額の10倍		●入院中以外の手術は、上記入院保険金日額の5倍	
	通院 (90日限度)	2,500円	2,000円	1,000円	1,000円
	死亡・後遺障害※	152.7万円	140.5万円	125.6万円	102.7万円
天災危険補償特約		○	○	○	—
熱中症危険補償特約		○	○	○	○
細菌性食中毒およびウイルス性食 中毒補償特約		○	○	○	—
育英費用		200万円	100万円	50万円	30万円
賠償責任補償		2億円	1億円	5,000万円	5,000万円

示談交渉 サービス付き(国内のみ)

相手方との示談交渉も
保険会社にお任せください。

●この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。詳細はパンフレットをご覧ください。
 ご不明な点については、パンフレット「生徒総合補償制度」をご覧ください、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

引受幹事保険会社/代理店・扱者

三井住友海上火災保険株式会社 岡山支店岡山第二支店
 〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL:086-225-0583
 三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社 岡山支店
 〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL:086-221-2576

引受非幹事保険会

東京海上日動火災保険株式会社
 Chubb損害保険株式会社

事故の際のご連絡先

24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」
 0120-258-189 (無料)

ご連絡の際は、「岡山県高等学校PTA連合会の学生・子ども総合保険に加入しています」という旨をお申し出ください。

保険金の請求に関するお問い合わせ 三井住友海上火災保険株式会社 関西傷害疾病第二保険金お支払センター
 TEL:06-6229-2628 月曜日から金曜日(祝日除く)9:00~17:00